
ジャンヌダルクのネットショッピング体験記

由一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ジャンヌダルクのネットショッピング体験記

【著者名】

NO498Z

由一

【あらすじ】

ジャンヌダルクが、ネットで服を買つようです。

私は、ジャンヌダルク。

今は転生して、十字 まもり として生きている。

ずっと、ひきこもりを続けていた私だが、ブログを始めたことでその生活にも変化が訪れる。私のブログにくるメンバー（通称：ブロとも）で、何と、オフ会を開く事になってしまったのだ。発端は、あのジル＝ド＝レイを名乗る者が、「会って話をしよう」と思いつきブログに書き込んできた事にある。私は、彼が本当にあのジル＝ド＝レイかどうかを知りたかつただけなのに、あんなことを言い出すもんだから他の輩達が食いついて話が膨らみ、結果、「大須の玉野屋でオフ会」という流れになってしまったのだ。しかし、こうなっては仕方ない。外の汚れた空気は好きではないが、どんな人間が集まるかはわからないがいくしかあるまい。私は、例え普段ひきこもつっていても、戦いに怯えるような人間では無い。

さて、そうなると準備が必要になつた。

店の予約とかは、ジル（ジル＝ド＝レイ）がやつてくれるらしいので気にしなくてもいいが、問題は私自身だ、一応、美少女な私だが、髪はだだくさに伸びているし、普段着ている襟元がくたびれた「MONKY」などといった全く格好の悪い文字が書いてあるTシャツなど着てはいけないだろう。皆の失笑をかうのは間違いない。だから、私は、まず第一に当田身につける服を探す必要が出た。人前に出ても恥ずかしくないようにだ。

近くにデパートはあるが外に出るのは嫌だ。それに、狙った服が

あるかどうかもわからない。そういうた理由から、私は、ネットで服を探す事に決めた。インターネットで買い物をしたことなど、一度も無かつたが、試してみることにした。

「女性」「服」

実際に様々な服が売られている。

あの頃……オルレアンにいた頃とはえらい違った。あの頃はいつも面白みのない布の服と、鎖帷子ばかりを着ていた感じだった。こうやって、のんびり服を探すなんてことは無かつた。こういうのは、何だか楽しい。普通の女の子達もみんなこう言つ気持ちになるんだろうな。いや、私よりももっと純粋に、自分の着た姿を思い浮かべて、或いはそれを彼氏に見てもらつた時の事を考えてときめいたりするのだろう。少し、羨ましい気分になつた。ジャンヌ＝ダルクという名が、記憶が、少し窮屈に感じる。

さて、暫く探していると、遂に私の目に留まる服が現れた。

白色の袖無しの服、短めのスカート。首に付いている十字架付リボンもアクセントとして最高だ。しかも、ヘアピンもセットと都合が良い。どこかの、アニメのキャラクターの衣装の様でタイトルに「完月 しおり 夏服」とある。

よし、これを買おう。

私は、これらをネット内のショッピングカートに入れた。

……

ただ、商品を入れたのは良いが、いくらか問題が発生した。まず、この服は30000円もした。長い事引き籠もつていたか

ら全然金銭のことなど考へていなかつたためそこは蔑にしてしまつたのだ。そして、支払いにキャッシュカードが必要な事も問題だつた。私は、勿論カードなんて持つていない。トレーディングカードすら持つていない。

結局、頼りになるのは現世の両親だつた。

私は、ひきこもりやめるからと何とか頼みこんだ結果、快く承諾してくれたが、何だかとても申し訳が無かつた。人間は信用しないとは言つてゐるが、この両親は例外だと実感した時だつた。

注文してから、6日後服は届いた。会に間に合うかとハラハラしたが何とか間に合つた。

箱には「コスプレショッピングCOSPACO」と書かれている。この部分を親に見られたのはちょっとはずかしかつた。私は気まずい雰囲氣の中、その箱を自分の部屋に運んだのだった。

こうして私は、初のネットショッピングを体験した。
オフ会まであと数日を残すのみである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0498z/>

ジャンヌダルクのネットショッピング体験記

2011年12月1日22時51分発行